町の話題 PHOTO NEWS

その②

第61回日本学生科学賞 県議会議長賞受賞！

「殻無しウズラ孵化への挑戦！」
～L型発酵乳酸カルシウムの添加効果～

きっかけは小さな疑問から！

去る10月18日（水）、坂東市の県自然博物館で第61回日本学生科学賞の審査会が開かれました。小中学合計２万点を超える応募の中、利根中学校２年生の加藤碧彩さん、片岡愛さんが「殻無しウズラ孵化への挑戦！～L型発酵乳酸カルシウムの添加効果～」という作品で見事県議会議長賞を受賞されました。

胚発生からひなの育成の様子までの過程を透明な人口容器に入れ観察したり、「死にごもり」（卵の中で死んでしまう現象のこと）の原因を探るなどを調べました。

なぜ、この研究をしようと思ったんですか？

小学校5年生の時にウズラの研究をして、その時にひなを孵した時に殻の中で死んでしまうひながたくさんいました。その理由がずっとわからなくて…。なんでだろうと思ったのがきっかけです。

そもそも研究をするうえでの知識や何が必要なのかなどの情報を集めることから始まりました。

まずは、この研究に詳しい千葉の学校へ手紙を出して情報の収集から始めました。1年生の3月ごろだったと思います。そこから実際にその研究を見学させてもらったり、実験をするうえでの注意点などの話を聞いたりしました。

その実験を見て難しいと思ったんですけど、やってみたいって気持ちが強かったので研究をしようと思いました。

この研究をするうえで、苦労したことは何ですか？

…全部です。（笑）観察そのものは、自宅でしたんですけど、材料を全部集めるのにとても苦労しました。殻の役割を担う容器とか作るのも苦労しましたけど、何より酸素ボンベを集めるのがつらかったです…。

あとは、孵化する際に手助けしなきゃいけないんですけど、それが一番苦労しました。鶏は自力で殻を破るけど、ウズラは自力で殻を破るのはほぼゼロに近いため、そこは細心の注意を払いましたね。

他にも、孵化する2～3日前は10分置きに観察したり、孵化直前は付きっきりだったりと大変でした。なので…やっぱり全部です（笑）

最後に受賞した気持ちや感想などをお願いします。

嬉しかったです。今回はとても頑張ったので、県はいける自信がありました。けど全国に出品されるとは思っていなかったので純粋にうれしかったです。

また、この研究をしていくうえでつらいことや悲しいこともいっぱいあったけど、家族や学校の先生などの協力や支えもあって、ここまでこれたんだと思います。ありがとうございました。

コート内を縦横無尽に舞う！

～利根町民バレーボール大会の開催～

▶見事優勝した大橋組の方々

10月22日（日）、利根中学校体育館にて、第29回利根町民バレーボール大会が行われました。４チームが熱戦を繰り広げ、接戦の末「大橋組」が優勝しました。国際交流も兼ねスリランカチームも参加され楽しんでいました。

また、つくば市を拠点とするVリーグ所属のプロバレーボールチーム「つくばユナイテッドサンガイア」から浜崎勇選手をお招きしプレーのアドバイスをもらうなど、交流を図り充実した１日となりました。

ワクワクドキドキ新入学！

～ランドセル展示会の開催～

▶お気に入りのランドセルは、見つかったかな？

町では、子育て支援事業の一環として、来年度小学１年生になる子どもたちを対象に、お祝いとしてランドセルを贈呈いたします。安心してランドセルを選べるように、９月23日（土）～10月５日（木）に展示会を開催しました。役場４階会議室に色とりどりの男女合わせて23種類ものランドセルが展示され、訪れた家族は、実際に触れたり背負ったりして選んでいました。贈呈されるランドセルは、12月から配送され、ご家庭に届く予定になっています。

笑顔で元気にナイススパーク！

～第31回国保カップゲートボール大会～

▶ゲート目指して一球入魂！

10月24日（火）、利根町生涯学習センターゲートボール場において、利根町主催による「第31回国保カップゲートボール大会」が開催されました。

この大会は、ゲートボールを通じて、健康に対する認識を深め、自らの健康管理を助長することを目的に毎年行われています。

当日は、少し肌寒い中、８チームが参加。選手の方々は、日ごろの練習の成果を発揮し、真剣勝負の中にも笑顔ありと、和やかな対戦が繰り広げられました。

チームワークの勝利です！

～全員で勝ち取った準優勝～

▶素晴らしい成績を収めた栄寿会の方々

10月11日（水）、笠松運動公園補助陸上競技場にて、「第22回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会」が開催されました。

ゲートボール競技会は、計38チームがトーナメント方式で競い合う大会で栄寿会は見事準優勝し、来年行われるとやま大会の出場も決まりました。

チーム代表の今野さんは、「チームワークの勝利です。全員一丸となった結果、準優勝することができました。」と話していました。

身近な下水道についてもっと知ろう！

～下水道促進週間コンクールの開催～

▶受賞の喜びをカメラに向かってハイ、チーズ！

今年度も絵画・ポスターの部105点、作文の部２点、書道の部175点、新聞の部１点、標語の部94点の総数377点という多くの優秀な作品の応募がありました。作品から児童、生徒皆さんの一生懸命さと作品の魅力が伝わってきました。各部での栄えある入賞者は右記の方々です。

また、応募された皆さんの作品は、第57回「下水道いろいろコンクール」応募のため、日本下水道協会へ送付させていただきました。

入賞者 ―敬称略― おめでとうございます！

【絵画・ポスターの部】

利根町長賞
志村実桜（布川小4年）

利根町教育長賞
小倉煌雅（文間小5年）

下水道賞
倉持美里（文小2年）
柴田美俐（文小2年）
井伊輝斗（文小2年）
堀絢音（文小3年）
吉田直矢（文小5年）
大楠一心（文小5年）
赤穂まろん（利根中1年）
半田琴美（利根中1年）

【書道の部】

利根町長賞
杉山優菜（利根中3年）

利根町教育長賞
小林嘉人（文小5年）

下水道賞
竹内みなみ（布川小2年）
永見心音（文間小3年）
河村倫之介（文小3年）
佐藤仁美（布川小6年）
宮崎愛（文間小6年）
菊地愛絵莉（利根中3年）
古谷輝（利根中3年）
根本結菜（利根中3年）

【標語の部】

利根町長賞
武藤航太（利根中3年）

利根町教育長賞
白井三奈（利根中2年）

下水道賞
小倉煌雅（文間小5年）
湯山海（利根中2年）
野口拓祐（利根中3年）

【作文の部】

利根町長賞
寺島晃（文小1年）

【新聞の部】

利根町長賞
本谷桃華（利根中2年）